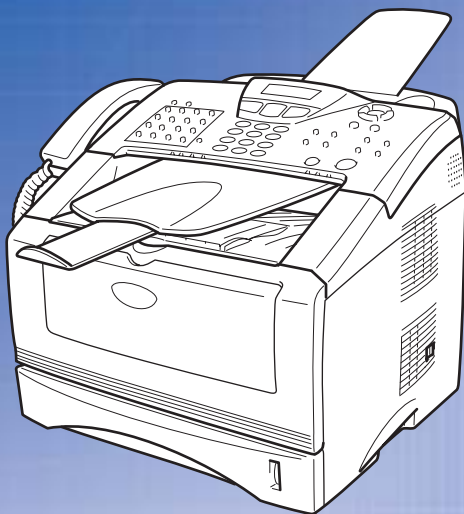
brother

MFC-8210J

取扱説明書　～パソコン活用編～

本書はなくさないように注意し、
いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

お客様相談窓口（コールセンター）

0120-143-410

この商品の取り扱い・操作についてのご不明な点がございましたら、
上記お客様相談窓口にお気軽に申しつけください。

●受付時間／9:00～20:00（土曜日のみ17:00まで）
●営業日／月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

やりたいことがすぐ探せる！ **やりたいこと目次** 9P

トナーカートリッジとドラムユニットの回収リサイクルのご案内

http://www.brother.co.jp/product/printer/recycle/

ブラザーでは環境保護に対する取り組みの一環としてトナーカートリッジとドラムユニットのリサイクルに取り組んでおります。使い終わりましたブラザー製トナー/ドラムがございましたら回収にご協力お願い申し上げます。詳しくは、ホームページをご参照ください。

国際エネルギースタープログラム

この制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むために、エネルギー消費の少ない効率的な製品を、開発･普及させることを目的とします。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

VCCI規格

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

レーザーに関する安全性

本製品は、米国において、保健および安全に関する放射線規制法（1968年制定）にしたがった米国厚生省（DHHS）施行基準で、クラスⅠレーザー製品であることが証明されており、危険なレーザー放射のないことが確認されています。
製品内部で発生する放射は保護ケースと外側カバーによって完全に保護されており、ユーザーが操作しているときに、レーザー光が製品から漏れることはありません。

警告

（本書で指示されている以外の）機器の分解や改造はしないでください。レーザー光線への被ばくや、レーザー光漏れによる失明の恐れがあります。内部の点検･調整･修理は、販売店にご依頼ください。

電源高調波

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機および類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

MFC　1年間無償保証

ブラザーMFC は下記のアフターサービスメニューをご用意致しております。
故障かな？と思ったら．．．

お客様相談窓口へお電話ください。

取扱説明書の表紙に記載された、フリーダイヤル[お客様相談窓口]へお電話ください。
お客様の製品の状態を、お電話による質疑応答により診断。
E-mailでのお問い合わせ：
http://www.brother.co.jp/jp/mail_service_id/index.html
http://solutions.brother.co.jp/contact/index.html

修理が必要と診断された場合

48時間以内に、故障機の回収手配。 *1

事前にお客様のご都合をお伺いし、宅配便による故障機の回収を手配します。
お客様によるサービスセンターへの持ち込みは不要です。

ご希望に応じて、
貸出機のサービスもご用意。 *2

修理期間中に電話・ファクスが無いと困る！というお客さまには、貸出機をご用意します。
宅配便手配の際にお申し付けください。

7日以内に修理品を返送。

弊社到着後、7日以内にお客様へ修理完了品をお返しします。

*1　一部地域を除く
*2　正常動作の確認・整備をした機械（ただし、トナー・ドラムは除く）

ブラザーサービスパック

1年間の無償保証期間“Service Express”に加え、さらに充実した保守サービスメニューをご用意しております。（有料）

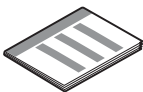
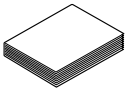
サービスパック

製品購入と同時に購入して頂けるサービスプログラムです。
2年もしくは3年間の長期保証契約ですので、割安にサービスを受けられるメリットがあります。

年間保守サービス

製品ご購入後、いつでもご契約できる1年単位のサービスプログラムです。

※各保守契約については、［出張修理］か［引取り修理］を選択していただけます。

・上記2つの保守契約には、技術料／部品代が含まれます。
・出張修理は原則、コール受付の翌営業日にエンジニアが設置先へ訪問し修理対応します。
　出張修理契約には、出張料が含まれております。
・引取り修理は、宅配業者による故障機の回収手配をし、修理完了後返送します。引取り修理契約には、送料も含まれております。
・サービス提供時間：月～金（除く祝祭日、弊社休業日）9:00～17:00

各保守契約についての料金体系・サービス内容の詳細は、下記の窓口へお問い合わせください。
TEL : 052-824-3253
http://www.brother-hanbai.co.jp/brother_support/index.html

取扱説明書の構成

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

	かんたん設置ガイド 本機を使用するための準備について記載しています。
	取扱説明書 ファクス、コピーのしかたや本機のお手入れ、困ったときの対処法などについて記載しています。
	• **取扱説明書～パソコン活用編～（本書）** • **ネットワーク設定説明書** **（NC-9100h を装着している方のみ）** 「PDF マニュアル」が付属の CD-ROM に収録されています。 プリンタ・PC-FAX など、パソコンと接続して使う機能や、ネットワークボード（NC-9100h）を装着した場合のネットワークプリンタとして使う機能について説明しています。

● 取扱説明書はスタートメニューからも閲覧できます。
［スタート］－［プログラム］－［Brother］－［MFC_DCP MFC-8210J］－［取扱説明書］の順にクリックします。

本書の表記

本文中では、マークおよび商標について、以下のように表記しています。

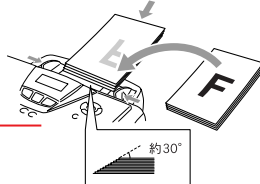
マークについて

マーク	説明
注意	本機をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本機の操作手順に関する補足情報を説明しています。
P. XXX	参照先を記載しています。
P. XXX	取扱説明書に記載の参照先を記載しています。

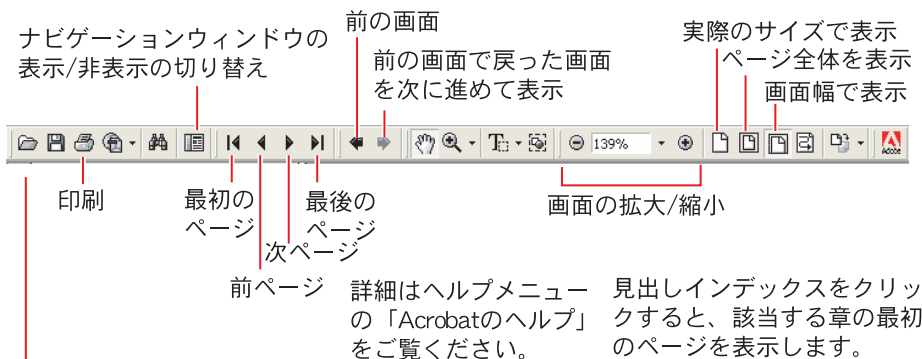
商標について

Windows®95 の正式名称は、Microsoft® Windows® 95 operating system です。
Windows® 98 の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 operating system です。
Windows® 98SE の正式名称は、Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system です。
Windows® 2000 Professional の正式名称は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system です。(本文中では Windows® 2000 と表記しています。)
Windows® Me の正式名称は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system です。
Windows NT® Workstation 4.0 の正式名称は、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 です。(本文中では Windows NT® 4.0 と表記しています。)
Windows® XP の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system です。
本文中では、OS 名称を略記しています。
Microsoft、Windows および Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac、Mac OS は、アップルコンピュータ社の登録商標です。
Adobe、Photoshop は Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

本書の読みかた

本書は次のようなレイアウトで説明しています。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

Acrobat® Reader® の表示画面と操作

本PDFマニュアルをお読みになるためのAcrobat® Reader® の表示画面と操作を簡潔に説明します。

ナビゲーションウィンドウ
この例のように[しおり]タブで見出しを表示している状態で見出しをクリックすると、該当するページを表示します。

現在のページ/総ページ
見たいページの数値を入力して表示させることができます。

文書内容が表示されます。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

補足

● Acrobat® Reader® 5.0 ／ Adobe® Reader® 6.0 または Acrobat® 5.0 ／ 6.0 をお使いの方は、画面上の PDF の線をなめらかにして見ることができます。下記の手順で操作してください。

【Acrobat® Reader® 5.0 または Acrobat® 5.0 をお使いの場合】

① PDF を開きます。

②ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］を選択します。
（Acrobat® 5.0 の場合は、ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］－［一般］を選択します）

③画面左側の項目から［表示］を選択します。

④［スムージング］の［ラインアートのスムージング］チェックボックスをチェックします。

⑤［OK］をクリックします。

【Adobe® Reader® 6.0 または Acrobat® 6.0 をお使いの場合】

① PDF を開きます。

②ツールバーの［編集］メニューから［環境設定］を選択します。

③画面左側の項目から［スムージング］を選択します。

④［文字のスムージング］［ラインアートのスムージング］［画像のスムージング］の各チェックボックスをチェックします。

- 文字／ラインアート／画像のスムージング処理を個別にオン／オフすることができます。
- ノートパソコンまたは LCD 画面で PDF をご覧になる場合は、［CoolType の使用］チェックボックスもチェックすることをお勧めします。

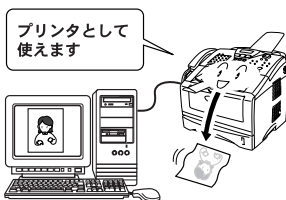
⑤［OK］をクリックします。

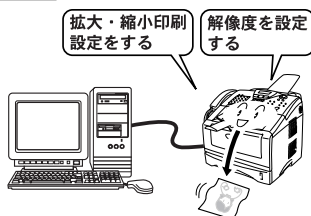
やりたいこと目次

あなたの「〇〇したい」から該当ページを参照できます。
各機能をご利用になる前に取扱説明書の「第２章 ご使用前の準備」
P. 35 を必ずお読みください。

プリンタ

プリンタとして使いたい。

P. 14

カスタム設定をしたい。

P. 28

ネットワーク内で本機を共有プリンタとして使いたい。

P. 190

目　次

プリンタとして使う

プリンタとして使用する前に

ドライバをインストールする

本機をプリンタとして使用するには、付属の CD-ROM の中にあるプリンタドライバをインストールする必要があります。CD-ROM の中には、Windows® 95/98/98SE/Me/2000/XP、Windows NT®4.0 およびアップルコンピュータ社製 Macintosh® の USB ポート搭載機で、Mac OS® 8.6 以降に対応のプリンタドライバが用意されています。これらのドライバは、Windows®、Mac OS® に簡単にインストールでき、拡大・縮小印刷の指定や印刷方向、用紙のカスタムサイズの設定等ができます。

ドライバのインストール方法については、「かんたん設置ガイド」を参照してください。

プリンタとしての特長

本機は、高品質のレーザープリンタとしての特長を備えており、ファクスの送受信中でもパソコンからのデータを印刷することができます。

以下に、プリンタとしての特長を説明します。

● ハイスピード印刷

1 分間に最高 18 枚の印刷ができます。（印刷する内容によって異なります）

● 2400 × 600dpi 出力

普通紙に 2400 × 600dpi の解像度で印刷します。

● 双方向パラレルインターフェース（IEEE1284）に対応

本機のパラレルポートはパソコンとの双方向通信に対応します。

● USB（Universal Serial Bus）に対応

Hi-Speed USB2.0 に対応します。

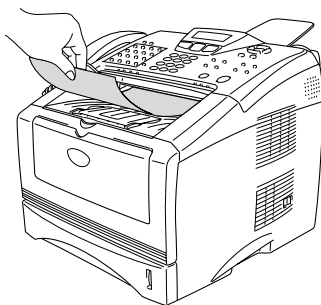
● 多彩な記録紙対応

本機は普通紙、OHP フィルム、はがきおよび封筒に対応します。

● ネットワークプリント

オプションのネットワークボード（NC-9100h）を装着すると対応できます。

補足

- 印刷品質の設定については P. 28 を参照してください。
- パソコンとの接続については「かんたん設置ガイド」を参照してください。
- 用紙についての詳細は P. 37 を参照してください。
- 液晶ディスプレイがオレンジ色の点灯になっていたら、キャンセル を押してメモリーに残っているデータをクリアすることができます。
- 印刷された記録紙は前面の排紙トレイに出てきます。

- 本機がパソコンからのデータを印刷中でもコピー操作はできますが、コピーを開始するのはパソコンの印刷終了後です。また、パソコンから印刷中にファクスを受信すると、パソコンの印刷終了後にファクス受信の記録が行われます。ファクス送信は、印刷中でも継続されます。

■ ご使用のソフトウェアの種類やパソコンの環境によっては、本機で印刷できない場合もあります。

■ 用紙を再度挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばさないと紙づまりが発生することがあります。

■ 非常に薄い用紙や非常に厚い用紙の使用はお勧めしません。

■ Windows® 2000/XP をお使いの方へ

- この取扱説明書ではブラザー製プリンタドライバがインストールされている環境の機能について説明しています。
- Windows®標準ドライバのみをインストールした環境では、プリンタの全機能はサポートされません。

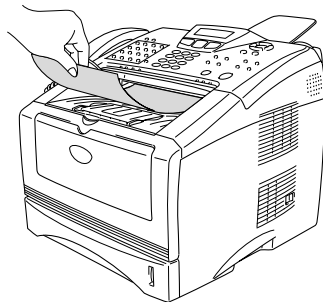
印刷する

1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

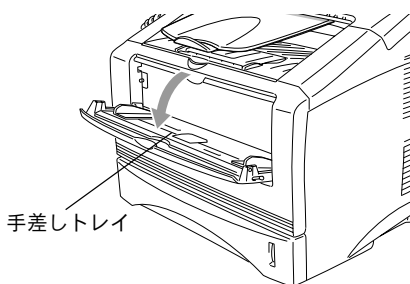
2 ［印刷］ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

3 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックします。

4 ［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックすると、印刷を開始します。

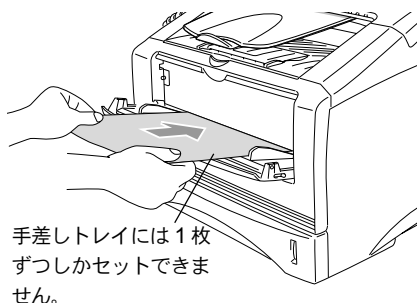
液晶ディスプレイがオレンジ色に点灯して印刷を開始します。

手差しトレイを使用して印刷する

手差しトレイは、記録紙トレイの上にあります。用紙や封筒は一度に一枚ずつ給紙します。記録紙を記録紙カセットから取り出す必要はありません。

1 手差しトレイを開けます。

2 記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせます。

3 印刷したい面を上にして記録紙を手差しトレイへセットします。

カチッと音がして用紙の先端が少し引きこまれるまで保持します。

手差しトレイには 1 枚ずつしかセットできません。

4 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

5 ［印刷］ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

6 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックします。

7 ［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックすると、印刷を開始します。

液晶ディスプレイがオレンジ色に点灯して印刷を開始します。
印刷した記録紙を本機が排出したら、手順 3 にしたがって次の記録紙を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

厚紙に印刷する

本機の背面には背面排紙トレイがあり、記録紙を曲げることなく排紙することができます。厚い記録紙に印刷するときは、手差しトレイから記録紙を入れ、背面排紙トレイから排紙してください。

背面排紙トレイを開きます。

必要に応じて、フェイスアップ出力サポータを引き出します。

2 手差しトレイを開けます。

3 記録紙ガイドを記録紙の幅に合わせます。

印刷したい面を上にして記録紙を手差しトレイへセットします。

カチッと音がして用紙の先端が少し引きこまれるまで保持します。

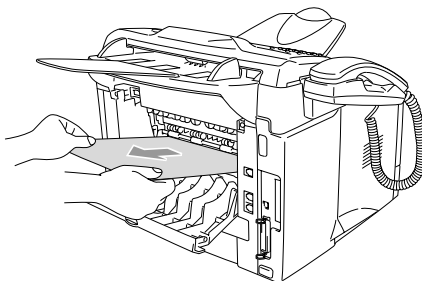
5 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

6 ［印刷］ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

7 用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックします。

8 ［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックすると、印刷を開始します。

液晶ディスプレイがオレンジ色に点灯して印刷を開始します。
印刷した記録紙を本機が排出したら、手順４にしたがって次の記録紙を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

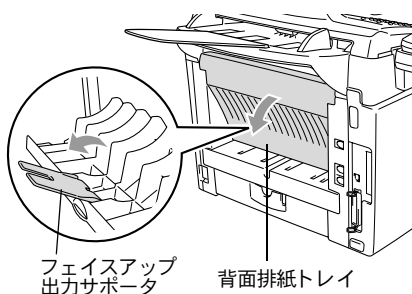
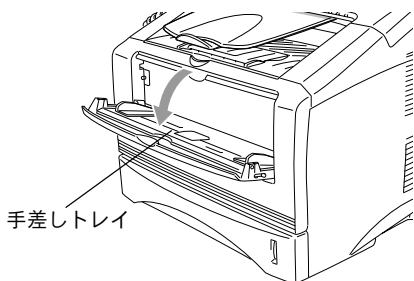
■ 1 枚印刷し終わるごとに、印刷した記録紙をすぐに取り除いてください。印刷した記録紙を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

9 印刷後、背面排紙トレイを閉じます。

背面排紙トレイ奥の両サイドにある青色のレバーを下げたときは、自動的に元の位置に戻ります。

封筒に印刷する

封筒に印刷するときは、手差しトレイと背面排紙トレイを使って以下の手順で操作します。

1. 背面排紙トレイを開きます。

   必要に応じて、フェイスアップ出力サポータを引き出します。

2. 手差しトレイを開けます。

3. 記録紙ガイドを封筒の幅に合わせます。

4. 印刷したい面を上にして封筒を手差しトレイへセットします。

   一度にセットできる封筒は 1 枚のみです。
   カチッと音がして封筒の先端が少し引きこまれるまで保持します。

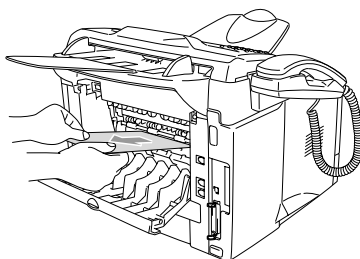
5. アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

6. ［印刷］ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

用紙サイズや向きなどの印刷設定を行い、［OK］をクリックします。

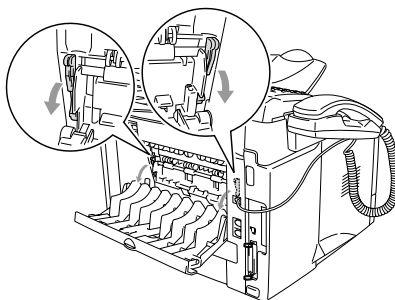
［印刷］ダイアログボックスにて［OK］をクリックすると、印刷を開始します。

液晶ディスプレイがオレンジ色に点灯して印刷を開始します。
印刷した封筒を本機が排出したら、手順 4 にしたがって次の封筒を挿入します。
印刷は枚数分繰り返してください。

■ 1 枚印刷し終わるごとに、印刷した封筒をすぐに取り除いてください。印刷した封筒を背面排紙トレイに溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。

印刷後、背面排紙トレイを閉じます。

背面排紙トレイ奥の両サイドにある青色のレバーを下げたときは、自動的に元の位置に戻ります。

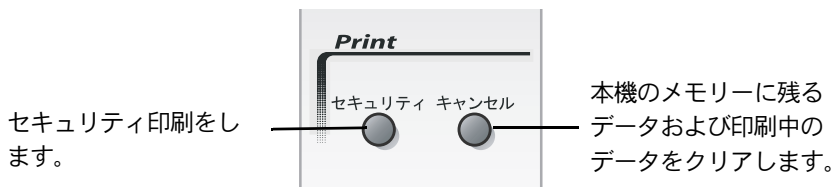
● 【印刷後、封筒にしわが入るとき】

開いた背面排紙トレイの奥の両サイドにある青色のレバーを下図の矢印の方向に下げます。印刷が終了したら、背面排紙トレイを閉じてください。つまみがリセットされ元の位置に戻ります。

操作パネルからの操作

操作パネルにはプリンタ用に次のボタンが用意されています。

セキュリティ印刷をします。

Print
セキュリティ　キャンセル

本機のメモリーに残るデータおよび印刷中のデータをクリアします。

セキュリティ印刷のしかた

パソコンから本機に機密書類の印刷データが送られてきた場合、受信して即印刷をすると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。
そのような場合は、パソコン側のプリンタドライバでパスワードを設定します。
P. 34
パスワードが設定されていると、本機は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。データはプリンタの電源をオフにしても保持されます。
パスワードを入力して印刷後、データはメモリーからクリアされます。
データ受信後の印刷は、以下の操作で行います。

1 セキュリティ を押します。

メモリーにセキュリティデータがない場合は、「デ゛ータガ゛アリマセン」と表示されます。

2 ▲▼ を押してユーザーを選択し、Set を押します。

```
ﾅﾏｴ ?
AOKI
```

3 ▲▼ を押して印刷したいデータを選択し、Set を押します。

```
ﾌﾞﾝｼｮﾒｲ ?
TEXT1
```

4 4桁のパスワードを入力し、Set を押します。

```
TEXT1
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ :XXXX
```

「プリント」を選択して を押します。

```
▲▼デ゛センタク/セットボ゛タン
プ゜リント                  ◆
```

印刷を開始します。

を押します。

印刷データのクリアのしかた

本機内のメモリーに登録されている印刷用データおよび印刷中のデータをクリアすることができます。

キャンセル を押します。

```
キャンセル
インサツヲ チュウシシマス
```

- セキュリティ印刷で同時にアクセスできるユーザは、最大 10 名までです。
- 1 ユーザがセキュリティ印刷できるジョブ数は 3 件までです。
  3件以上のセキュリティ印刷を行う場合は、未処理のジョブを印刷してから行ってください。

Windows® でプリンタドライバの設定をする

プリンタドライバは、本機をプリンタとして使用するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバは、CD-ROM に収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることもできます。

http://solutions.brother.co.jp

ここでは、プリンタドライバの機能について説明します。表示される画面はご使用のオペレーティングシステムにより異なります。プリンタドライバの機能の詳細は、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

本機でパソコンから印刷する際にプリンタドライバで各種の設定をすることができます。

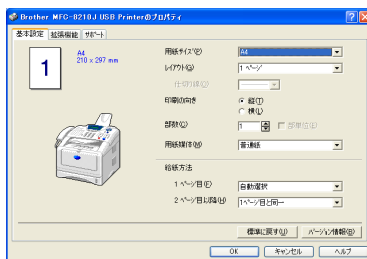
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

2

［印刷］ダイアログボックスの中で本機のプリンタ名を選択し、［プロパティ］をクリックします。

3

各項目を設定します。

- 設定内容の詳細は P. 25 を参照してください。

［OK］をクリックします。

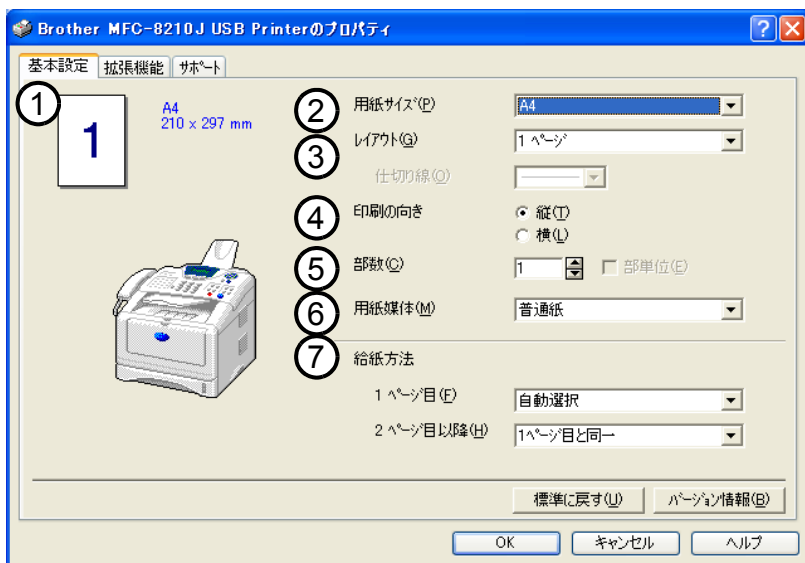
［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

補足

- お買い上げ時の設定に戻す場合は、手順 3 で［標準に戻す］をクリックしてから［OK］をクリックします。

ドライバでの設定内容 :Windows®

プリンタドライバで変更できる設定項目について説明します。
プリンタドライバで設定できる項目は、OS が異なっていても基本的に同じです。ただし、お使いの OS によっては利用できない項目があります。
お使いのアプリケーションソフトに類似した機能がある場合は、両方の設定が有効となりますので、同時に使用しないでください。

[基本設定] タブでの設定項目

設定後［OK］ボタンをクリックして、選択した設定を確定します。
標準設定に戻すときは［標準に戻す］ボタンをクリックします。

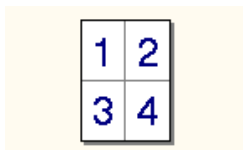
①現在の設定状態

この部分には、用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、拡大縮小、部数、部単位など、現在の設定状態が表示されます。

②用紙サイズ

プルダウンメニューから、使用する［用紙サイズ］を選択します。

③レイアウト

イメージのサイズを縮小して複数のページを 1 枚の用紙に印刷できます。

例：4 枚を 1 ページに縮小印刷

仕切り線

［レイアウト］機能で複数のページを 1 枚の用紙に印刷する場合、各ページを仕切る線を「————」（実線）、「---------」（破線）、［なし］から選択できます。

④印刷の向き

文書を印刷する向き（縦または横）を選択します。

縦選択時	横選択時
1	1

⑤部数

印刷する部数を設定します。

部単位

複数の部数が選択されている場合に、この項目が有効になります。

［部単位］のチェックボックスをチェックすると、文書全体が 1 部印刷されてから、選択した部数だけ印刷が繰り返されます。［部単位］チェックボックスが未チェックの場合は、文書の各ページが設定された部数分だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

部単位チェックボックスがチェック	部単位チェックボックスが未チェック
1 1,2 1,2	1 2,2 1,1

⑥用紙媒体

使用する用紙のタイプを選択します。用紙の種類にあった用紙媒体を選択することによって、印刷品質が向上します。

- 普通紙
- 普通紙（厚め）
- 厚紙（ハガキ）
- 超厚紙
- ボンド紙
- OHP
- 封筒
- 封筒（厚め）
- 封筒（薄め）

通常の普通紙を使用している場合は、［普通紙］を選択します。より重い用紙を使用している場合は、［普通紙（厚め）］か［厚紙（ハガキ）］を選択します。ボンド紙には、［ボンド紙］を選択し、OHP フィルムには［OHP］を選択します。封筒の場合、厚さが通常のときは［封筒］を、厚いときは［封筒（厚め）］、薄いときは［封筒（薄め）］を選択します。

⑦給紙方法

1 ページ目に使用するトレイを選択します。

- 自動選択
- トレイ 1
- トレイ 2　＊オプションの「記録紙トレイ＃ 2」（ローワートレイ）が装着されている場合
- 手差し

2 ページ目以降で使用するトレイを選択します。

- 1 ページ目と同一
- トレイ 1
- トレイ 2　＊オプションの「記録紙トレイ＃ 2」（ローワートレイ）が装着されている場合
- 手差し

［拡張機能］タブでの設定項目

タブの設定を変更するには、画面の中のいずれかのアイコンを選択します。

注意

■ Windows® のプリンタ共有機能を使って使用する場合、ご使用の OS の種類の組み合わせなどの環境によっては、拡張機能が使用できない場合があります。

● 印刷品質

①解像度

記録紙や原稿、使用目的に合わせて解像度を選択します。

- HQ1200
- 600dpi
- 300dpi

②トナー節約モード

［オン］を選択することで、印刷密度を下げて、ランニングコストを抑えることができます。

③印刷設定

（Windows® 95/98/98SE/Me）

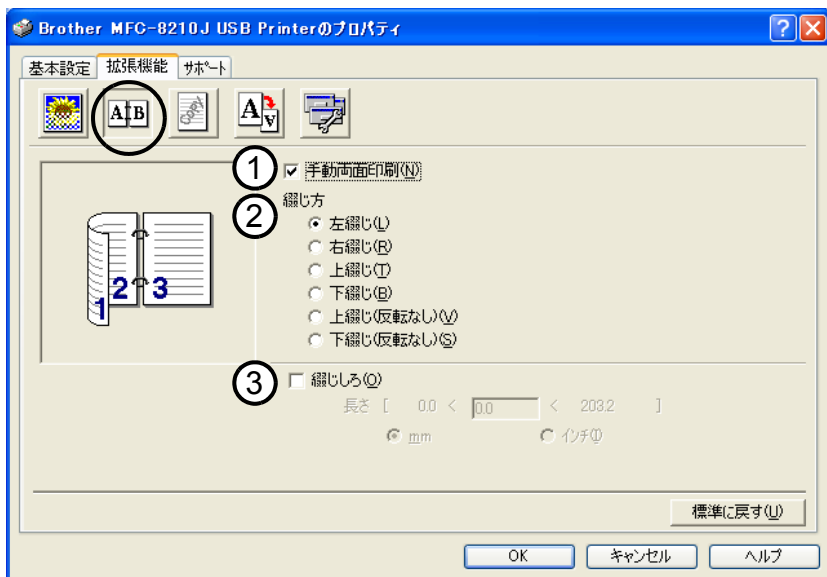
［自動設定］を選択すると、プリンタは自動的に最適の印刷設定で印刷します。［手動設定］を選択すると、［明るさ］、［コントラスト］、［ディザリング］オプションを手動で変更できます。

（Windows® 2000 Professional/XP/Windows NT®4.0）

［プリンタのハーフトーンを使う］は、プリンタのハーフトーン機能を使って印刷するときに選択します。

［システムのハーフトーンを使う］は、Windows® システムの持つハーフトーン機能を使って印刷するときに選択します。

［階調印刷を改善する］は、階調部分がきれいに印刷できないときに選択します。

● 両面印刷

①手動両面印刷

本機はすべての偶数番号のページを最初に印刷します。その後、プリンタドライバが停止し、用紙をもう一度セットするのに必要な指示が表示されます。［OK］ボタンをクリックすると、奇数番号のページが印刷されます。

②綴じ方

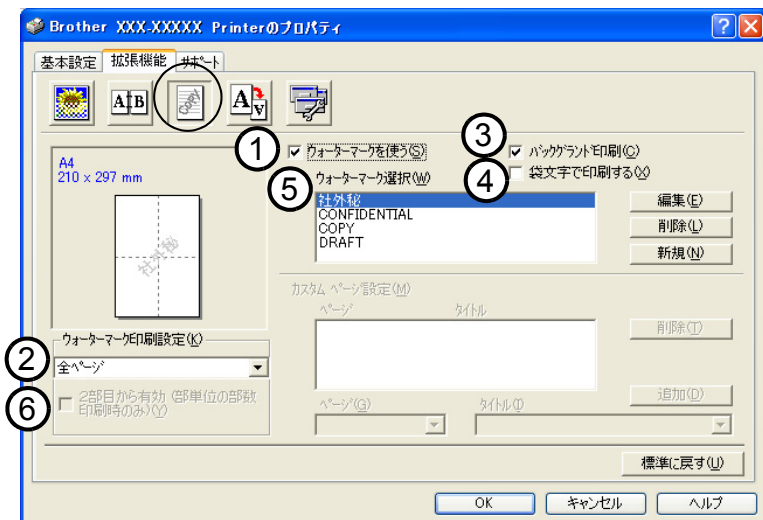
両面印刷時、綴じる向きを 6 種類の中から選択します。

③綴じしろ

チェックボックスをチェックすると、綴じ側のオフセット値をインチ（0 ～ 8 インチ）か、ミリメートル（0 ～ 203.2mm）で設定できます。

● ウォーターマーク

ロゴや本文をウォーターマーク（透かし絵）として文書に入れることができます。あらかじめ設定されたウォーターマークの一つを選択するか、作成済みのビットマップファイルまたはテキストファイルを使うことができます。

［ウォーターマークを使う］をチェックして、使いたいウォーターマークを選択してください。

①ウォーターマークを使う

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマーク（透かし絵）の選択ができます。

②ウォーターマーク印刷設定

以下に示す選択項目があります。

- 全ページ
- 開始ページのみ
- 2 ページ目から
- カスタム

③バックグランド印刷

チェックボックスをチェックすると、ページ上の文書の背景にウォーターマーク（透かし絵）が印刷されます。オフの場合、ウォーターマーク（透かし絵）は文書の上部に印刷されます。

④袋文字（Windows® 2000 Professional/XP/Windows NT®4.0）

チェックボックスをチェックすると、ウォーターマーク（透かし絵）が袋文字で印刷されます。

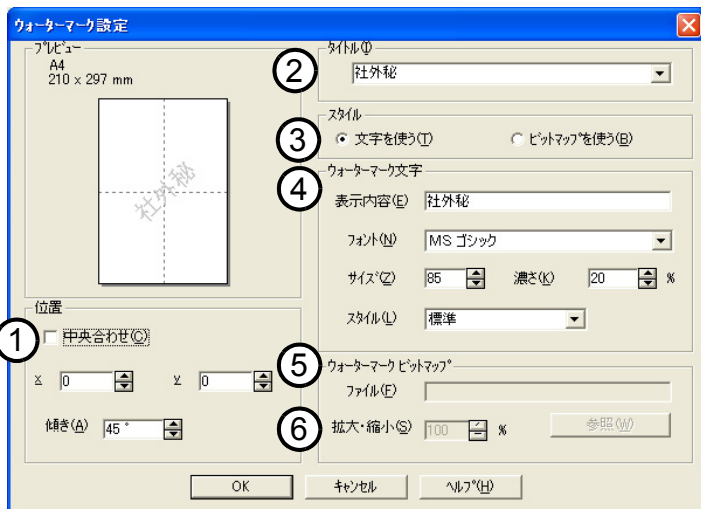
⑤ウォーターマーク選択

ウォーターマーク（透かし絵）を選択して［編集］ボタンをクリックすると、［ウォーターマーク設定］ダイアログボックスが表示され、ウォーターマーク（透かし絵）のサイズや位置などを変更できます。

⑥ 2 部目から有効 （Windows® 2000 Professional/XP/Windows NT®4.0）

部単位印刷の場合、2 部目以降ウォーターマーク（透かし絵）を印刷します。

● ウォーターマーク設定

ウォーターマークを選択し、[編集] ボタンを押すと、ウォーターマークのサイズとページ上の位置を変更することができます。新しいウォーターマークを追加したい場合は、[新規] ボタンをクリックし、[スタイル] の [文字を使う] または [ビットマップを使う] を選択します。

①位置

ページ上の透かし絵を配置する位置を設定します。

②タイトル

設定した透かし絵のタイトルを設定します。ここで設定したタイトルは、[ウォーターマーク選択] に表示されます。

③スタイル

新しく追加する透かし絵が、文字かビットマップかを選択します。

④ウォーターマーク文字

透かし絵の文字を [表示内容] ボックスに入力して、フォント、サイズ、スタイル、カラーを選択します。

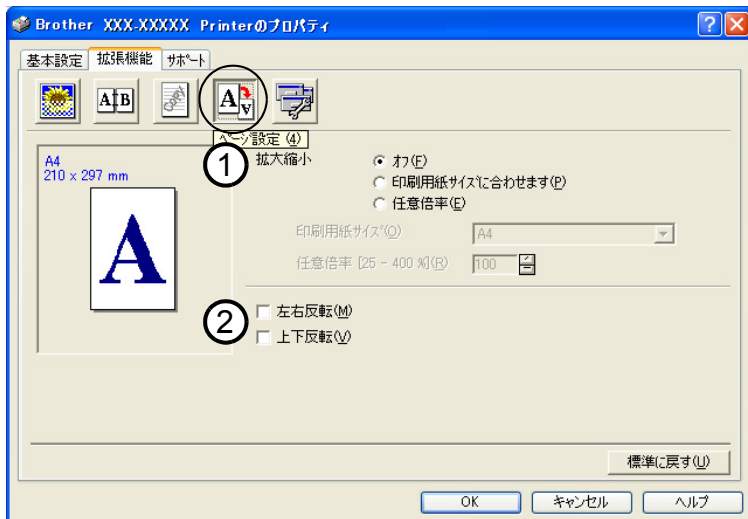
⑤ウォーターマークビットマップ

[ファイル] ボックスにビットマップイメージのファイル名を入力するか、[参照] ボタンをクリックして、ビットマップファイルを指定します。

⑥拡大・縮小

イメージのサイズを設定します。

● ページ設定

拡大縮小機能を使用して文書の印刷サイズを変更できます。

①拡大・縮小

文書を画面に表示されたとおりに印刷する場合は、[オフ] をチェックします。
文書のサイズが特別な場合や、標準サイズの用紙しかない場合は、[印刷用紙サイズに合わせます] をチェックして、用紙サイズを選択します。
印刷出力を拡大や縮小する場合は、[任意倍率] をチェックして、倍率を指定します。

②左右反転／上下反転

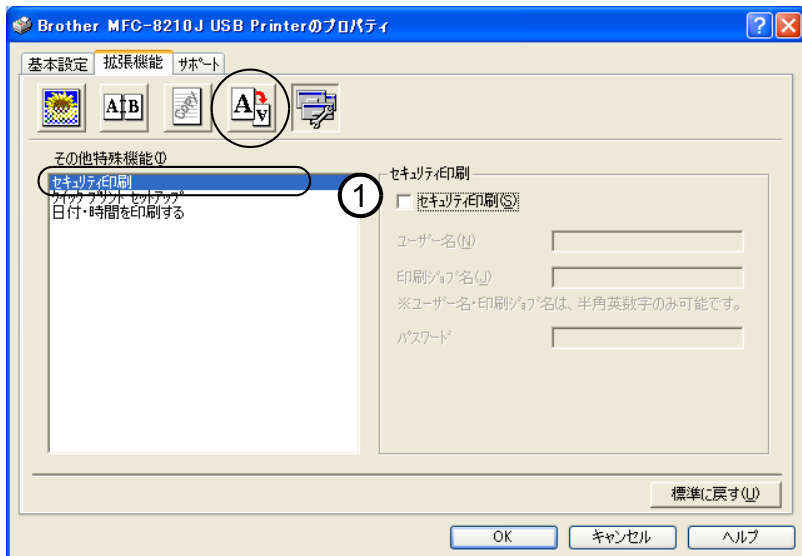
[左右反転] 機能や [上下反転] 機能をページの設定に使用することもできます。

● その他の特殊機能

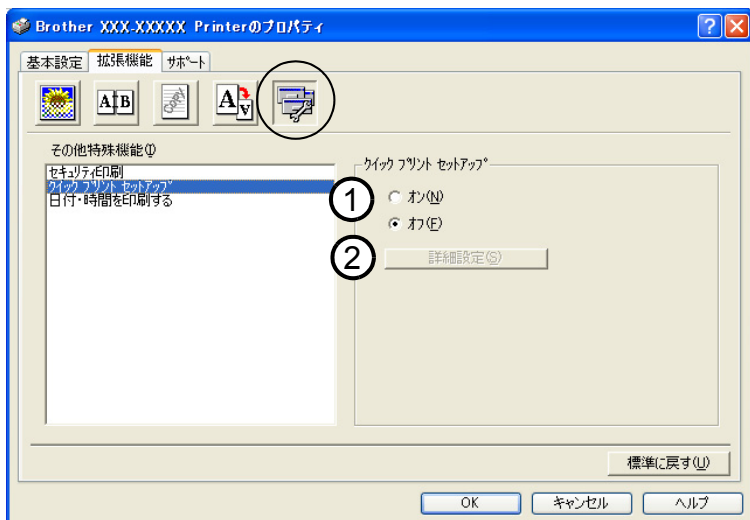
［その他の特殊機能］で各機能を設定できます。

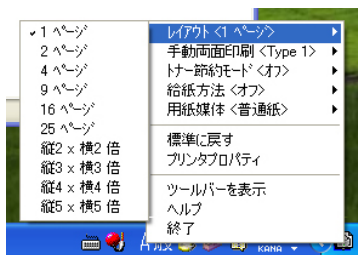
セキュリティ印刷

パソコンから機密書類の印刷データを送って即印刷されると、プリンタの近辺にいる人に見られてしまう可能性があります。そのような場合に備えて、パスワードを設定します。

パスワードが設定されていると、本機は印刷データを受信しても、プリンタの操作パネル上でパスワードが入力されるまで印刷を行いません。P. 22

①［セキュリティ印刷］のチェックボックスをチェックして、ユーザー名とパスワードを入力します。

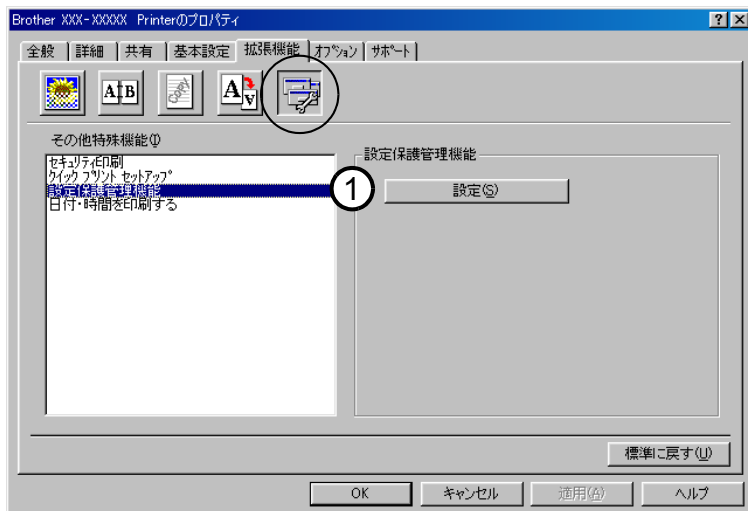
本機に転送した印刷データを削除する場合も、ここで設定したパスワードで削除します。

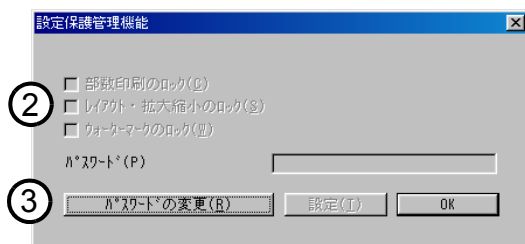
クイックプリントセットアップ
ドライバの設定をすばやく選択できます。

①クイックプリントセットアップ　オン／オフ

クイックプリントセットアップを［オン］にすると、ドライバ設定をすばやく選択することができます。タスクトレイのアイコン上でマウスボタンをクリックするだけで、設定を確認できます。

②詳細設定ボタン

設定を表示するには、［詳細設定］ボタンをクリックします。［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

設定保護管理機能（Windows® 95/98/98SE/Me のみ）

パスワードで設定を保護できます。

①設定ボタン

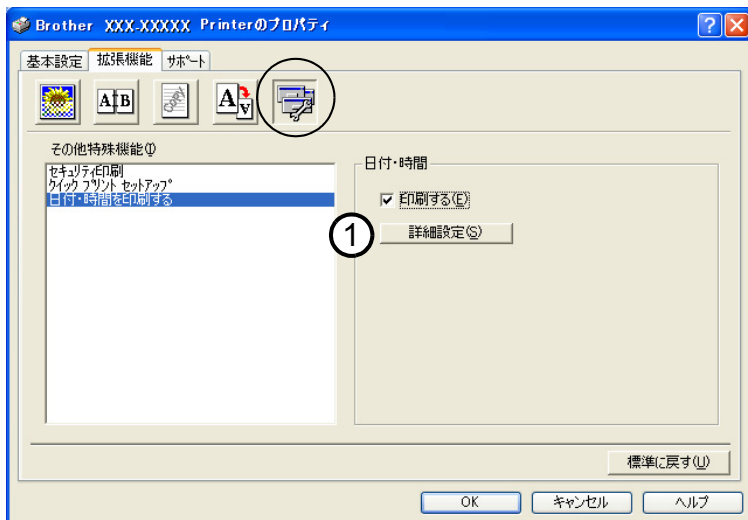
パスワードを設定するには、［設定］ボタンをクリックします。［設定保護管理機能］ダイアログボックスが表示されます。

②部数印刷のロック／レイアウト・拡大縮小のロック／ウォーターマークのロック

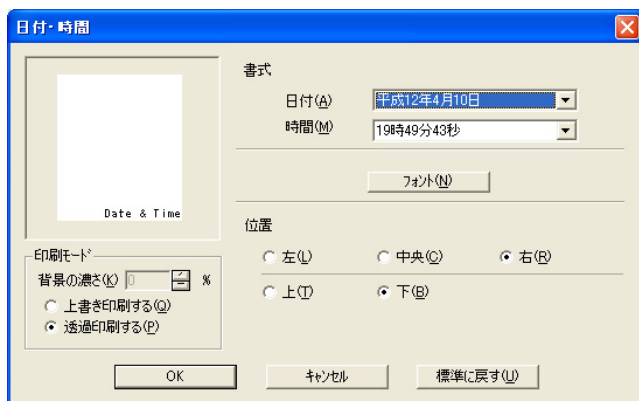
チェックボックスをチェックすると、［部数印刷のロック］、［レイアウト・拡大縮小のロック］、［ウォーターマークのロック］機能をロックしてパスワードで保護することができます。（パスワード設定時のみ）

③パスワードの変更ボタン

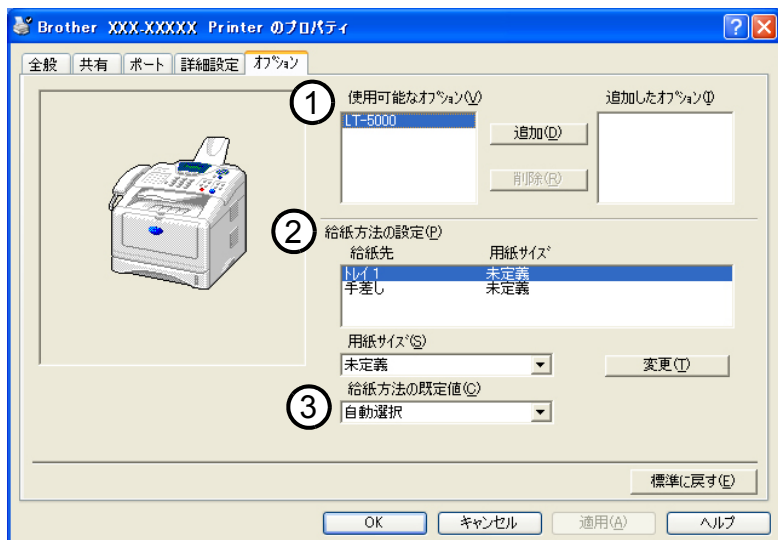
パスワードを記録して、後で参照できるように安全な場所に保管します。パスワードを忘れてしまうと、これらの設定にアクセスできなくなります。

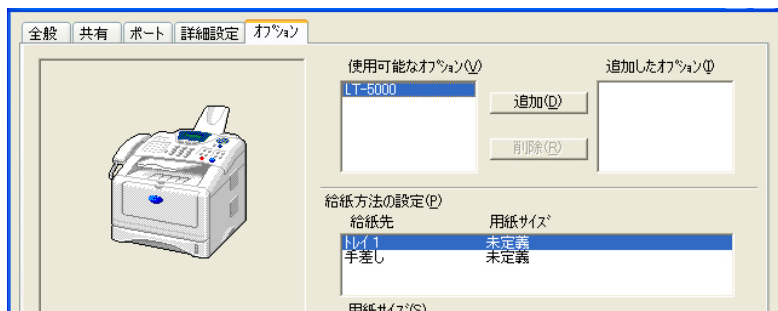
日付・時刻を印刷する

[印刷する] チェックボックスをチェックすると、設定した日付と時刻が文章に印刷されます。

①詳細設定ボタン

日付と時間の設定をするには、[詳細設定] ボタンをクリックします。[日付・時間] ダイアログボックスが表示されます。

日付と時間の印刷モード、書式、フォント、位置を設定します。
背景を日付と時間に含めるときは、[上書き印刷する] を選択します。
[上書き印刷する] が選択されると、パーセンテージを変更して日付と時間の [背景の濃さ] を設定できます。

[オプション]タブでの設定項目

オプションタブでは、プリンタに装着されたオプションやそれぞれの給紙先に入れられた用紙サイズの情報を設定します。これらの設定情報は、プリンタドライバの機能に反映されます。

①使用可能なオプション

オプションの「記録紙トレイ＃2」(LT-5000)を装着し、使用可能にするには、ドライバにそのオプションをインストールする必要があります。使用可能なオプションの中からモデル番号を選択し、[追加]をクリックします。オプショントレイが[追加したオプション]と[給紙方法の設定]に表示され、同時に、画面には[記録紙トレイ＃2]が設置された本機のイラストが表示されます。

②給紙方法の設定

それぞれの給紙先で使用する用紙サイズを設定します。ここで用紙サイズを設定しておくと、印刷する文書の用紙サイズによって、給紙先を自動的に切り替えます。ただし、この設定を有効にするには基本設定タブの［給紙方法］の設定を［自動選択］にしておく必要があります。

1 ［給紙方法の設定］リストから、設定するトレイを選択します。

2 ［用紙サイズ］プルダウンリストから、使用する用紙のサイズを選択します。

3 ［変更］ボタンをクリックします。

使用する用紙トレイや用紙サイズをお買い上げ時の設定に戻すときは、［標準に戻す］ボタンをクリックし、［OK］ボタンをクリックしてください。

③給紙方法の既定値

印刷したい文書の用紙サイズが、②給紙方法の設定での用紙サイズ設定に合わない場合に使用される給紙先が選択できます。

［サポート］タブでの項目

ドライババージョンと設定情報が示されています。また、［Brother Solutions Center］のリンクもあります。
サポートタブをクリックすると、次の画面が表示されます。

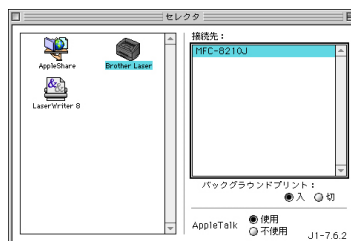
① Brother Solutions Center

FAQ（よくある質問）、ユーザー向けガイド、ドライバー更新、機器の使用上のヒントなど、ブラザー製品に関する情報を提供しているウェブサイトです。

②設定の確認

クリックすると、現在の基本的なドライバ設定の一覧が表示されます。

Macintosh® でプリンタドライバの設定をする（Mac OS® 8.6~9.2）

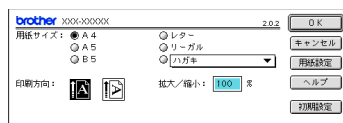
アップルメニューより［セレクタ］を選択します。

2 Brother Laser アイコンをクリックします（アイコンの色が強調表示されます）。

セレクタの右の欄にあるプリンタ名［MFC-8210J］をクリックしてからセレクタを閉じます。

3 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。

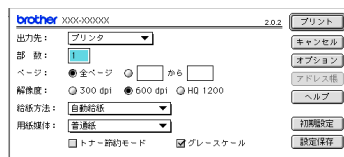
以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 印刷方向
- 拡大 / 縮小

設定が終わったら、［OK］をクリックします。

4 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

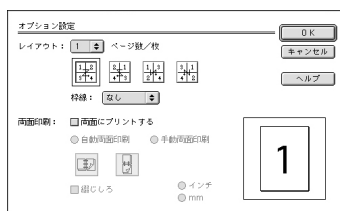
以下の項目が設定できます。

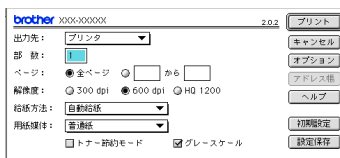
- 部数　　• 用紙媒体
- ページ　• トナー節約モード
- 解像度　• グレースケール
- 給紙方法
- ［オプション］をクリックすると、レイアウト指定と手動両面印刷指定ができます。

☞次ページへ続く

［オプション］をクリックします。

以下の項目が設定できます。

- レイアウト（1 枚への印刷ページ、印刷順、枠線の有無）
- 手動両面印刷
- 印刷の向き

設定が終わったら、［OK］をクリックします。

［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

Macintosh® でプリンタドライバの設定をする（Mac OS® X 10.1/10.2.1 以降）

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。［フォーマット］が［MFC-8210J］になっていることを確認します。

以下の項目が設定できます。

- 用紙サイズ
- 方向　•拡大 / 縮小

設定が終わったら、［OK］をクリックします。

アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。［プリンタ］が［MFC-8210J］になっていることを確認します。

以下の項目が設定できます。

- 部数
- ページ
- 丁合い

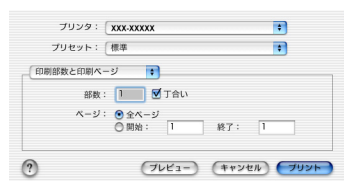
☞次ページへ続く

ポップアップメニューから［印刷設定］を選択します。

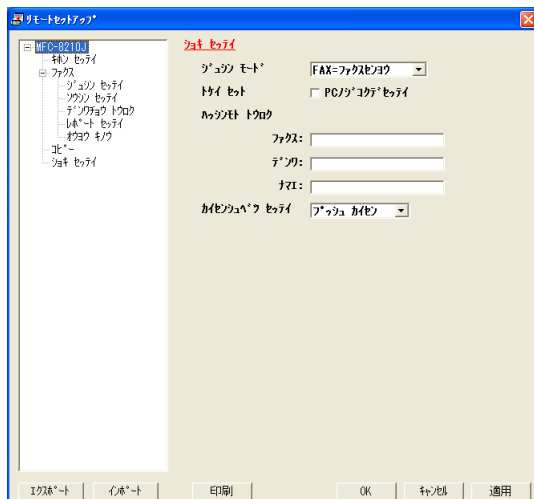
右の画面が表示され、以下の項目が設定できます。

- 印字品質
- 用紙媒体
- トナー節約モード

［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

リモートセットアップ

リモートセットアップについて

通常、本機に対する機能設定は操作パネル上のナビゲーションキーとダイヤルボタンで行いますが、リモートセットアップを使用すると、本機に対する機能設定をパソコンで簡単に行うことができます。

リモートセットアップを起動すると、画面の左側に、機能の分類が表示されます。この分類は、機能一覧 P. 69 のメインメニューに対応しています。
機能の分類をクリックすると、画面の右側に設定可能な項目が表示されますので、必要に応じて、データを入力したりプルダウンメニューから選択することができます。

起動した直後は、本機に設定されている内容が自動的にパソコンにダウンロードされ、画面上に表示されます。

補足

- 本機に設定されている内容のダウンロードには、数分間かかることがあります。
- リモートセットアップを使用するには、お使いのパソコンに「MFC/DCP ドライバ」をインストールする必要があります。インストールのしかたについては、かんたん設置ガイドの「ドライバをインストールします」を参照してください。
- リモートセットアップで設定した内容は、次に変更するまで有効です。
- ネットワークプリンタとして使用されている場合、接続方法によって、リモートセットアップを使用できないときがあります。
- ウィルスバスターなどのセキュリティ保護機能を持つソフトウェアが起動している場合、リモートセットアップ機能が使用できないことがあります。リアルタイム検索機能を［OFF］にするかセキュリティ保護機能を一時的に停止すると使用できるようになることがあります。操作のしかたはお使いのセキュリティ保護ソフトウェアの説明書をご覧ください。

設定できる項目

リモートセットアップで設定できる項目の一覧を以下に示します。

分類	中分類	項目	設定の可否
ショキ　セッテイ	ジュシン　モード	－	○
	トケイ　セット	－	○
	ハッシンモト　トウロク	－	○
	トクベツ　カイセン　タイオウ	－	×
	カイセンシュベツ　セッテイ	－	○
	ヒョウジ　ゲンゴ	－	×
	ナンバーディスプレイ	－	×

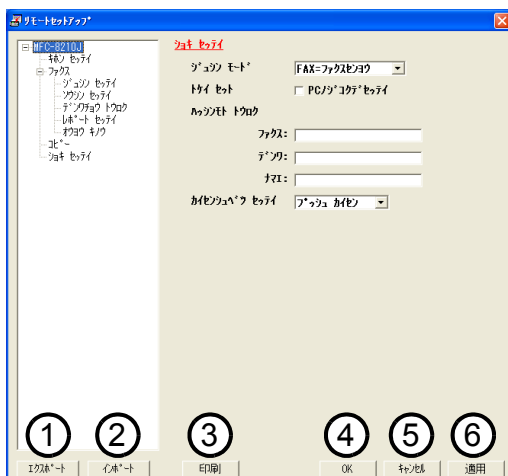
☞次ページへ続く

分類	中分類	項目	設定の可否
キホン　セッテイ	モード　タイマー	―	○
	キロクシ　タイプ	キロクシ　トレイ＃1 キロクシ　トレイ＃2	○ ○
	キロクシ　サイズ	キロクシ　トレイ＃1 キロクシ　トレイ＃2	○ ○
	オンリョウ	チャクシン　オンリョウ ボタンカクニン　オンリョウ スピーカー　オンリョウ ジュワ　オンリョウ	○ ○ ○ ○
	ショウエネ　モード	トナー　セーブ スリープ　モード	○ ○
	ガメンノ　コントラスト	―	×
	トレイ　センタク：コピー	―	○
	トレイ　センタク：ファクス	―	○

分類	中分類	項目	設定の可否
ファクス	ジュシン　セッテイ	ヨビダシカイスウ	○
		サイ　ヨビダシカイスウ	○
		シンセツ　ジュシン	○
		リモート　ジュシン	○
		ジドウ　シュクショウ	○
		インサツ　ノウド	○
		ポーリング　ジュシン	×
	ソウシン　セッテイ	ゲンコウ　ノウド	×
		ファクス　ガシツ	○
		タイマー　ソウシン	×
		トリマトメソウシン	○
		リアルタイムソウシン	○
		ポーリングソウシン	×
		ソウフショ	○
		ソウフショコメント	○
		カイガイソウシン　モード	×
	デンワチョウ　トウロク	デンワチョウ／ワンタッチ	○
		デンワチョウ／タンシュク	○
		デンワチョウ／グループ	○
	レポート　セッテイ	ソウシン　レポート	○
		ツウシン　カンリ　カクニン	○
	オウヨウ　キノウ	テンソウ／メモリージュシン	○
		アンショウバンゴウ	○
		ファクス　シュツリョク	×
	ツウシン　マチ　カクニン	－	×
	ドラム　ジュミョウ	－	×
	インサツマイスウ　ヒョウジ	－	×
	アンシン　ツウシン　モード	－	×
コピー	コピー　ガシツ	－	○
	コントラスト	－	○

リモートセットアップ設定内容：Windows®

ボタンの説明

リモートセットアップを起動するには、［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（またはプログラム）］－［Brother］－［MFC_DCP MFC-8210J］－［リモートセットアップ］の順に選択します。
リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

①エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

②インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③印刷

「電話帳リスト」または「設定内容リスト」が印刷できます。（P. 161 またはP. 162 と同じリストが印刷できます）ただし、本機に送信されるまで印刷できないため、［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本機に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤キャンセル

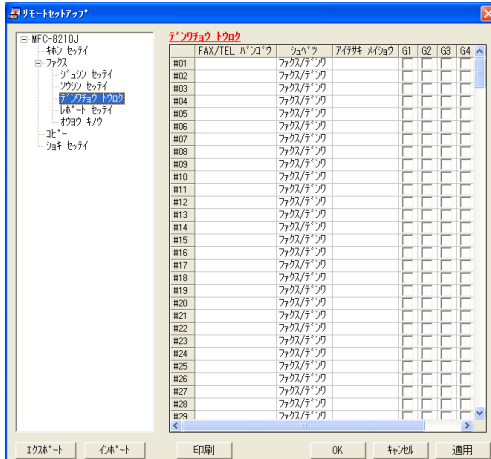
設定した内容を本機に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥適用

設定した内容を本機に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

電話帳登録をする

リモートセットアップの操作の例として、電話帳登録をする場合について説明します。

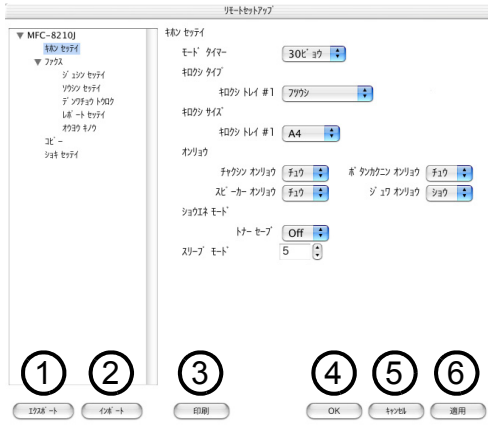
画面の左側の機能分類から［ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ］をクリックすると、次の画面が表示されます。

この画面で、電話番号と相手先名称を登録することができます。

- ワンタッチダイヤル：最大 32 件（01 ～ 32）
- 短縮ダイヤル：最大 300 件（001 ～ 300）

電話番号は 20 桁まで登録できます（カッコは登録できません）。
また、相手先名称は 15 桁まで入力できます。

リモートセットアップ設定内容：Macintosh® (Mac OS® X 10.1 ／ 10.2.1 以降)

ボタンの説明

リモートセットアップを起動するには、/Library/Printers/Brother/Utilities の中にある［Remote Setup］アイコンをクリックします。
リモートセットアップの画面のボタンについて説明します。

①エクスポート

現在の設定内容をファイルに保存します。

②インポート

ファイルに保存されている設定内容を読み込みます。

③印刷

「電話帳リスト」または「設定内容リスト」が印刷できます。（P. 161 またはP. 162 と同じリストが印刷できます）ただし、本機に送信されるまで印刷できないため、
［適用］をクリックして新しいデータを送信してから、［印刷］をクリックしてください。

④ OK

設定した内容を本機に送信するとともに、リモートセットアップを終了します。
送信の際に、エラーメッセージが表示された場合は、正しいデータを再度入力して、［OK］をクリックします。

⑤キャンセル

設定した内容を本機に送信しないで、リモートセットアップを終了します。

⑥適用

設定した内容を本機に送信しますが、リモートセットアップは終了しません。

PC-FAX を使用する

PC-FAX を使用する：Windows® 95/98/98SE/Me/2000/XP/Windows NT® 4.0

PC-FAX を利用してファクスを送信する

PC-FAX を利用すると、パソコン上のアプリケーションで作成した印刷データをファクスとして送信することができます。また、送付書を添付して送付することもできます。
あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、ファクスの宛先として設定できます。P. 60
ファクススタイル画面とシンプルスタイル画面のどちらかを選択することができます。P. 55

補足

- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。
- 送信を行う前に個人情報、電話帳を設定しておくと便利です。
- Windows® 2000/XP をご使用の方はアドミニストレータでお使いください。

個人情報を設定する

ファクスのヘッダーと送付書に使用される個人情報を設定します。
設定は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［個人情報］タブで行います。

1 ［スタート］メニューから、［プログラム］-［Brother］-［MFC_DCP MFC-8210J］-［PC-FAX 設定］の順に選択します。

2 個人情報を入力します。

［OK］をクリックして、個人情報を保存します。

送信の設定

ファクス送信に関する設定を行います。

設定は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで行います。

①ダイヤル設定

外線への接続に必要な番号を入力します。この番号は、PBX 電話システムで必要になる場合があります。
電話機を単独で使用している回線へ接続する場合、入力する必要はありません。

②ヘッダー

送信するファクスの先頭にヘッダー情報を追加する場合は、このチェックボックスをチェックします。

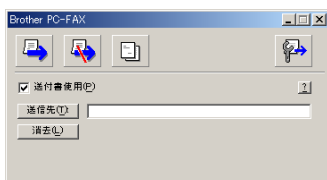
③電話帳ファイル

電話帳として使用するファイルを指定します。ファイルのパス名と名前を入力するか、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択します。
Windows® 2000/ XP、Windows NT® 4.0 をお使いの場合は、電話帳ファイルをお使いのパソコンのハードディスクドライブに指定してください。

④送信操作画面

［シンプルスタイル］か［ファクススタイル］のどちらかを選択できます。

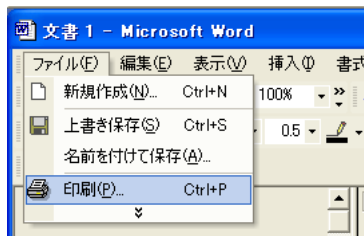
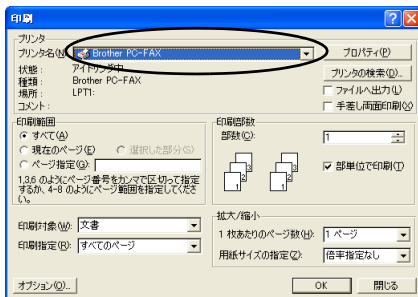
⑤ネットワーク PC-FAX

オプションのネットワークボード（NC-9100h）が装備されていればネットワーク PC-FAX が使用できます。使用するには［使用する］をチェックします。

<シンプルスタイル>

<ファクススタイル>

ファクススタイル画面を使用してファクス送信する

1 パソコン上のアプリケーションでファイルを作成します。

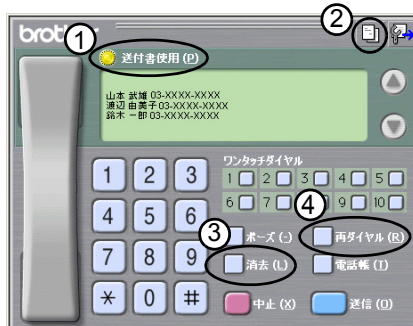
2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 プリンタ名の ▼ から［Brother PC-FAX］を選択して、［OK］をクリックします。

4 以下のいずれかの方法でファクス番号を入力します。

- ダイヤルパッドをクリックして番号を入力する。
- 10 個のワンタッチダイヤルボタンのいずれかをクリックする。
- ［電話帳］ボタンをクリックし、電話帳から送付先を選択する。

5 ［送信］をクリックします。

ファクス送信が開始されます。

補足

- ファクススタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで［ファクススタイル］を選択しておく必要があります。
- ファクススタイル画面のボタンについて以下に説明します。

①送付書使用

ファクスに送付書とコメントを付けて送信する場合にクリックします。

②送付書の作成

送付書の内容を入力したり変更する場合にクリックします。

③消去

ファクス番号を間違って入力したときにクリックします。

④再ダイヤル

ファクスを再送する場合にクリックします。［再ダイヤル］ボタンを押すたびに最新のものからさかのぼって 5 件表示されます。再送したいファクス番号が表示されたら、［送信］ボタンをクリックします。

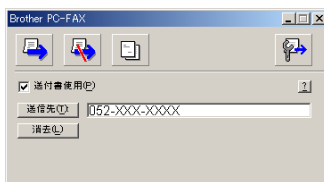
シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する

パソコン上のアプリケーションでファイルを作成します。

［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 プリンタ名の▼から［Brother PC-FAX］を選択して、［OK］をクリックします。

4 ［送信先］に、相手のファクス番号を入力します。

- 相手のファクス番号は、［送信先］ボタンをクリックして電話帳から選択することもできます。

5 送付書とコメントを付けてファクスを送信する場合は、［送付書使用］の設定を選択します。

6 をクリックします。

ファクス送信が開始されます。

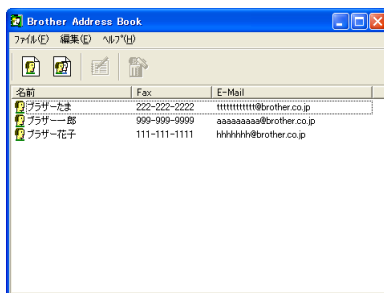
補足

- シンプルスタイル画面を使用してファクス送信する場合は、［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［送信］タブで［シンプルスタイル］を選択しておく必要があります。
- 相手のファクス番号は、［送信先］ボタンをクリックして電話帳から選択することもできます。
- ファクス番号を間違って入力したときには、［消去］ボタンをクリックします。
- をクリックすると、送付書の内容を入力したり変更することができます。

電話帳にメンバーを登録する

メンバーの登録は、［Brother Address Book］ダイアログボックスで行います。

1 ［スタート］メニューから、［プログラム］-［Brother］-［MFC_DCP MFC-8210J］-［PC-FAX 電話帳］の順に選択します。

右の画面が表示されます。

2 をクリックします。

右の画面が表示されます。

3 メンバーの情報を入力します。

［名前］の入力は必須です。

4 ［決定］をクリックして、メンバーの情報を保存します。

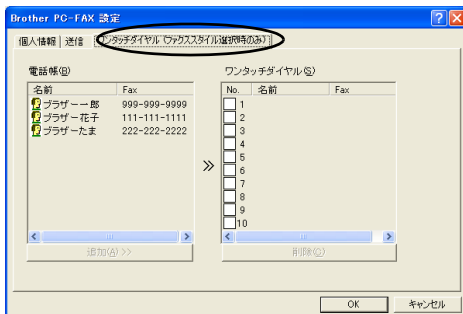
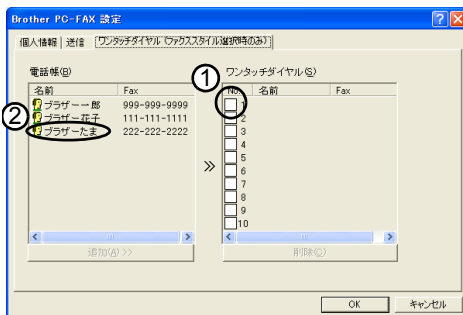
補足

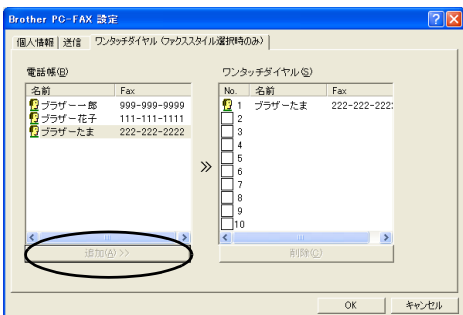
- 登録情報を追加、編集、削除する場合も、［Brother Address Book］ダイアログボックスで行います。
- 電話帳には 3000 件までのデータを登録することが可能です。

ワンタッチダイヤルに相手先を登録する

メンバーまたはグループを10個のワンタッチダイヤルボタンに登録できます。登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタン（1 から 10 のいずれか）を押すだけで、ワンタッチで送信先を指定することができます。

1 ［スタート］メニューから、［プログラム］-［Brother］-［MFC_DCP MFC-8210J］-［PC-FAX 設定］の順に選択します。

2 ［Brother PC-FAX 設定］ダイアログボックスの［ワンタッチダイヤル］タブをクリックします。

3 ［ワンタッチダイヤル］ボックスの番号をクリックします（①）。続けて、［電話帳］ボックスから、この番号に登録するメンバーまたはグループをクリックします（②）。

4 ［追加 >>］をクリックします。

右の例では、ワンタッチダイヤルの 1 番に［ブラザーたま］を登録しています。

登録した相手先をワンタッチダイヤルから削除する

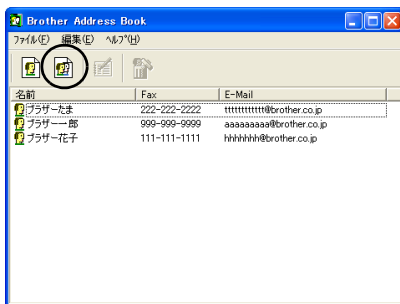
1.
［ワンタッチダイヤル］ボックスから、削除するメンバーまたはグループをクリックします。

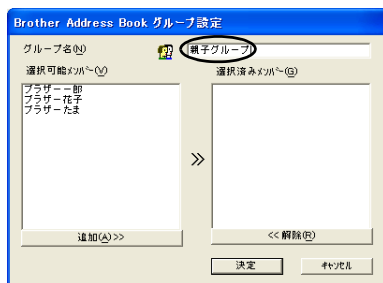
2.
［削除］をクリックします。

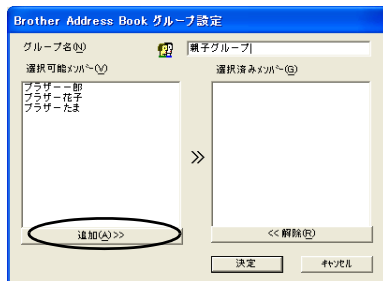
- ワンタッチダイヤルを使用するには、［送信］ダブの［送信操作画面］で［ファクススタイル］を選択する必要があります。

同報送信用のグループを設定する

同一のファクスを複数の相手に繰り返し送信する場合は、複数のメンバーをグループにまとめることができます。

［Brother Address Book］ダイアログボックスで、をクリックします。

2

［グループ名］にグループ名を入力します。

3

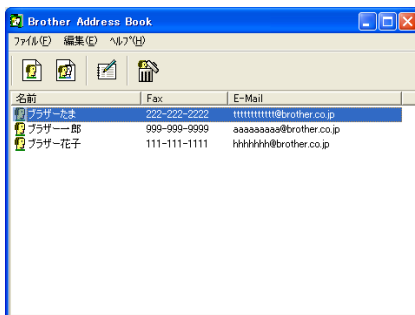
［選択可能メンバー］ボックスで、グループに追加するメンバーを選択してから、［追加>>］をクリックします。追加したメンバーは、［選択済みメンバー］ボックスに一覧表示されます。

4

メンバーの追加後、［決定］をクリックします。

補足

● 最大 50ヶ所まで同報送信できます。

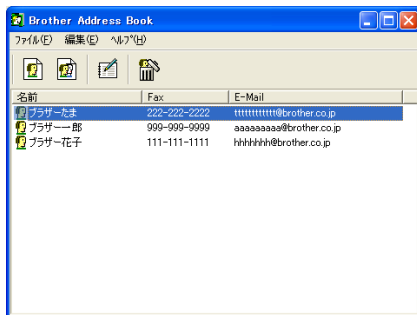
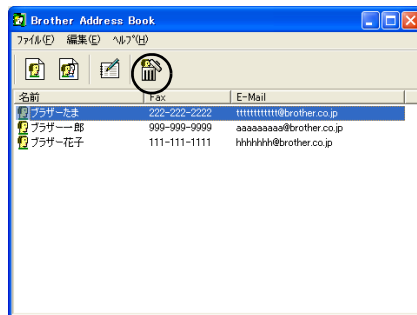
メンバーやグループ情報を編集する

1 ［Brother Address Book］ダイアログボックスで、編集するメンバーまたはグループを選択します。

2 をクリックします。

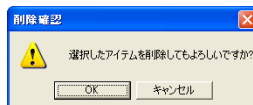
3 メンバーまたはグループ情報を編集します。

4 ［決定］をクリックして、変更を保存します。

メンバーやグループを削除する

［Brother Address Book］ダイアログボックスで、削除するメンバーまたはグループを選択します。

をクリックします。

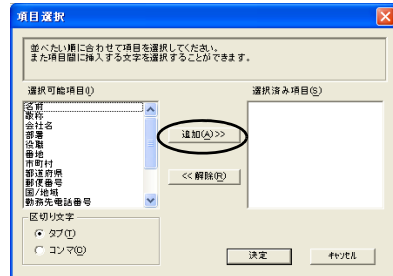
3

［削除確認］ダイアログボックスが表示されたら［OK］をクリックします。

電話帳をエクスポートする

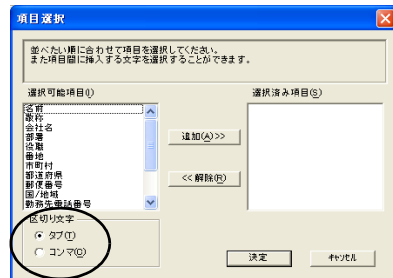
電話帳は、CSV 形式のファイルにエクスポートすることができます。また、選択されたメンバーの Vcard（電子名刺）を作成し、送信者のすべての送信電子メールに添付することもできます。

［Brother Address Book］ダイアログボックスで、［ファイル］-［エクスポート］-［Text］の順にクリックします。

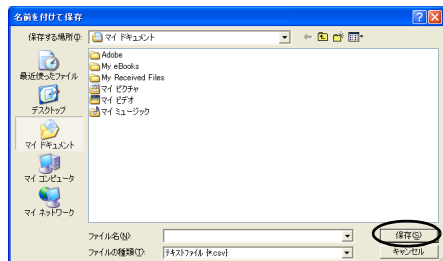
［Vcard］を選択した場合は、手順 5 に進みます。

エクスポートする項目を選んで、［追加 >>］をクリックします。

3

［区切り文字］で［タブ］または［コンマ］を選択します。

この設定により、エクスポート時に各項目の間にタブかコンマが挿入されます。

4

［決定］をクリックしてデータを保存します。

ファイル名を入力してから、［保存］をクリックします。

補足

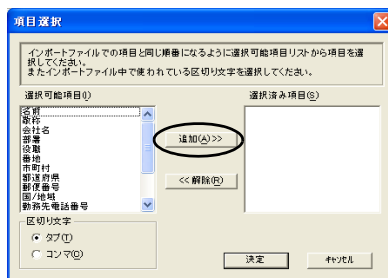
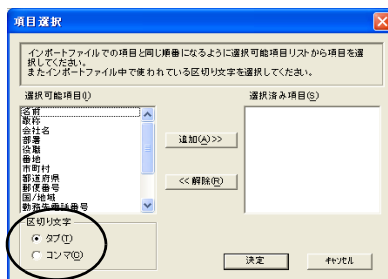
- 電話帳をエクスポートすることにより、他のアプリケーションのアドレス帳として使用することができます。
- 手順 1 で［Vcard］を選択した場合は手順 5 に進み、［ファイルの種類］は［Vcard（*.vcf)］になります。
- エクスポートする項目を選択する場合は、並べたい順番に選択してください。
- Vcard（電子名刺）には、送信者の連絡先情報が格納されています。
- Vcard を作成する場合、メンバーを最初に選択しなければなりません。

電話帳にインポートする

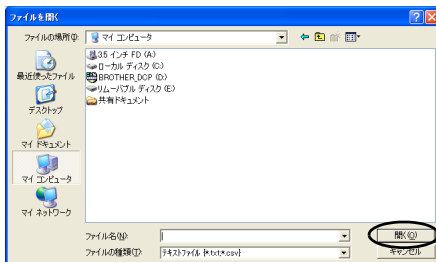
CSV 形式のファイルまたは vcf 形式のファイル（Vcards：電子名刺）を、電話帳にインポートできます。

1 電話帳の画面で、［ファイル］-［インポート］-［Text］の順にクリックします。

［Vcard］を選択した場合は、手順 5 に進みます。

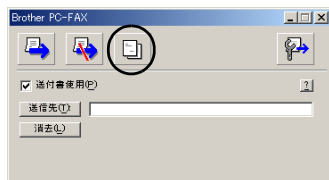
2 ［選択可能項目］欄からインポートする項目を選択してから、［追加 >>］をクリックします。

3 インポートするファイル形式により、［区切り文字］で［タブ］または［コンマ］を選択します。

4 ［決定］をクリックして、データをインポートします。

☞ 次ページへ続く

ファイル名を入力して、［開く］をクリックします。

補足

- 手順 1 で［Vcard］を選択した場合は手順 5 に進み、［ファイルの種類］は［Vcard（*.vcf)］になります。
- インポートする項目を選択する場合は、元のファイル項目の並び順に合わせて選択してください。

送付書を作成する

ファクスを送信する画面（シンプルスタイルまたはファクススタイル）で をクリックすると、以下の画面が表示されます。

<シンプルスタイル>　<ファクススタイル>

①送信先

送信先の情報を入力します。

②送信元

送信元の情報を入力します。

③コメント

送付書に追加するコメントを入力します。

④フォーム

送付書のスタイルを選択します。

挿入 BMP ファイル

会社のロゴなどのビットマップファイルを送付書に挿入する場合にチェックします。

[参照] ボタンをクリックして BMP ファイルを選択してから、ビットマップファイルの配置を選択します。

送付書をページ数に加える

チェックボックスをチェックすると、送付書がファクスの送付枚数に含まれます。チェックを外すと、送付書は送付枚数に含まれません。

補足

- 複数の相手先にファクスを送信する場合、受信者情報は送付書に印刷されません。
- 個人情報が設定されていれば、送信元の情報は自動的に引用されます。
- 送付先の名称に敬称は自動的に付加されません。敬称が必要な場合は、送信先の名称を編集して敬称を付けてください。

PC-FAX を使用する：Macintosh®

PC-FAX を利用してファクスを送信する

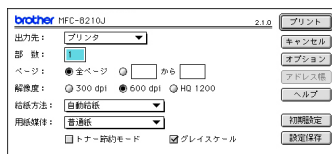
PC-FAX を利用すると、Macintosh® 上のアプリケーションで作成したファイルをファクスとして送信することができます。
あらかじめ、PC-FAX の電話帳に相手先を登録しておくことで、電話帳を呼び出して、ファクスの宛先として設定できます。

補足

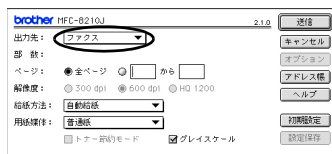
- Mac OS® X への対応状況は、弊社ホームページにて最新情報を公開しております。以下のサイトを参照してください。
  http://solutions.brother.co.jp
- PC-FAX は、モノクロのみ対応しています。

MacOS® 8.6 ～ 9.2 環境上のアプリケーションからファクスを送る

1 Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成します。

2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

プリントダイアログが表示されます。

3 ［出力先］から［ファクス］を選択します。

☞ 次ページへ続く

［送信］をクリックします。

［ファクス送信］ダイアログが表示されます。左のボックスには保存されているファクス番号リスト、右のボックスには送信先のファクス番号がそれぞれ表示されます。

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力します。または、ファクス番号リストボックスから名前またはファクス番号を選択して［>>］をクリックします。

ファクスの受信者ボックスに宛先が表示されます。

［送信］をクリックします。

ファクス送信が開始されます。

補足

- 手順 5 で、［Shift］キーと［Ctrl］キーを使用すると、複数の宛先を一度に指定できます。また、手順 5 の画面で、［新規作成］をクリックすると、新しい宛先を電話帳に追加することができます。電話帳への登録については P. 60 を参照してください。
  また、［グループ］をクリックすると新しいグループを登録できます。グループの登録については P. 74 を参照してください。

電話帳に宛先を新規登録する

1 ［ファクス］ダイアログの［アドレス帳］をクリックします。

［アドレス帳］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［新規作成］をクリックします。

右のダイアログボックスが表示されます。

名　前：
ファクス番号：
備　考：
ＯＫ
キャンセル

3 名前とファクス番号を入力します。

• 備考欄には 15 文字以内のコメントを入力できます。

名　前：佐藤
ファクス番号：052-XXX-XXXX
備　考：
ＯＫ
キャンセル

4 ［OK］をクリックして、［アドレス帳］ダイアログボックスに戻ります。

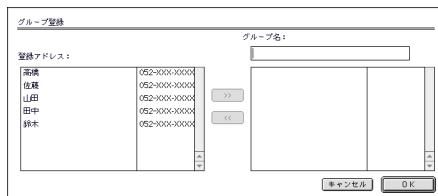
補足

● ファクスの宛先を指定している途中でも新しい宛先やグループを登録できます。

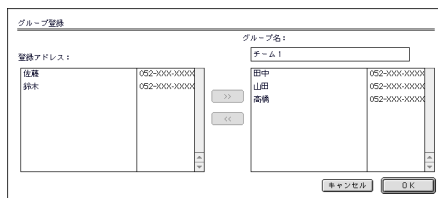
● 電話帳には 3000 件までのデータを登録することが可能です。

新規グループを登録する

1 ［新規グループ］をクリックします。

［グループ登録］ダイアログボックスが表示されます。

2 グループ名欄にグループ名を入力します。

3 ファクス番号リストで目的の名前を指定し［>>］をクリックします。

指定した名前はグループ名欄の下に表示されます。

4 ［OK］をクリックします。

［アドレス帳］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［OK］をクリックします。

［ファクス］ダイアログボックスが再び表示されます。

6 ファクスを送信する準備ができたら［送信］をクリックします。

補足

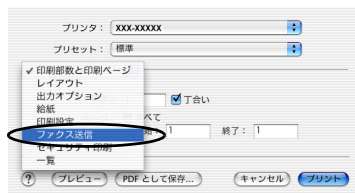
- ファクスの送信手順については P. 71 を参照してください。

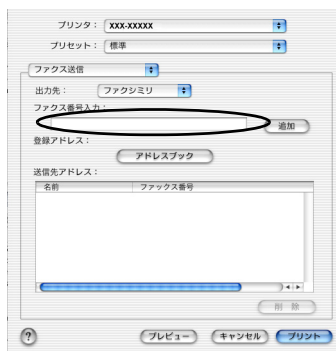
MacOS® X 10.1/10.2.1 以降の環境上のアプリケーションからファクスを送る

Macintosh® のアプリケーションでファイルを作成します。

2 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

プリントダイアログが表示されます。

3 プルダウンメニューから［ファクス送信］を選択します。

4 ［出力先］プルダウンメニューから［ファクシミリ］を選択します。

ファクス番号入力ボックスにファクス番号を入力します。

6

［プリント］をクリックします。

ファクス送信が開始されます。

MacOS® X アドレスブックアプリケーションの利用

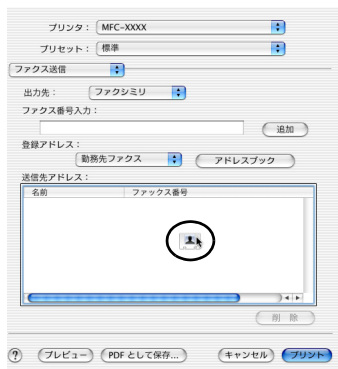
アドレスブックからVcardをドラッグすることで送信先を設定することができます。

[アドレスブック] をクリックします。

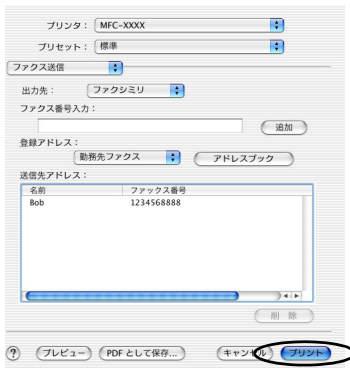
アドレスブックが起動します。

2

アドレスブックからvCard を［送信アドレス］までドラッグします。

[送信先アドレス] に番号が表示されます。

3

ファクス送信先の設定が完了したら、［プリント］をクリックします。

注意

■ Vcard　は自宅ファクス番号または勤務先ファクス番号が登録されたものを使用してください。

■ 登録アドレスプルダウンリストから自宅ファクスまたは勤務先ファクスを選択することで Vcard 内のどのカテゴリのファクス番号を使うかが決定されます。Vcard 内に登録されているファクス番号がひとつのみの場合、選択されたカテゴリ（自宅または勤務先）に関係なく、そのファクス番号が送信先として設定されます。

付　録

エラーメッセージが表示されたときは

液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されたときは、取扱説明書の「エラーメッセージ」P. 215 をご確認ください。
取扱説明書に記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口 0120-143-410 へ連絡してください。

故障かな？と思ったときは

故障かな？と思ったとときは、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」P. 226 をご確認ください。
取扱説明書に記載の処置を行ってもエラーが解決しないときは、お客様相談窓口 0120-143-410 へ連絡してください。

使用環境

プリンタドライバは、CD-ROM に収録されています。最新のプリンタドライバは、以下のサイトからダウンロードすることができます。

http://solutions.brother.co.jp

パソコン環境〔Windows®〕

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。

OS/CPU/ メモリー

- Windows® 95/98/98SE/Me/2000 Professional/Windows NT® 4.0 （SP6 以降）
- Pentium® II プロセッサ（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 /64MB（推奨 128MB）以上
- Windows® XP

  Pentium® II プロセッサ 300MHz（Pentium® 互換 CPU 含む）以上 / 128MB（推奨 256MB）以上

ディスク容量

80MB 以上の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

インターフェース

Hi-Speed USB 2.0

パラレル

ネットワーク（10Base -T）/（100Base -TX）

補足

- USB ケーブル、パラレルケーブル、ネットワークケーブルは市販のものをお使いください。
- USB ケーブル、パラレルケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- お使いのパソコンが Hi-Speed USB 2.0 に対応している場合は、Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルをお使いください。
  (Hi-Speed USB 2.0 の動作が保証されたケーブルには認証ロゴがはいっています)。
- Full-Speed USB2.0/USB1.1 対応のパソコンでもご使用いただけます。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- USB 接続は、次のパソコンに対応しています。
  - Windows® 98/98SE/Me/2000/XP のプレインストールモデル
  - 以下のアップグレードモデル
    Windows® 98/98SE → Windows® Me/2000/XP
    Windows® Me → Windows® 2000/XP
    Windows® 2000 → Windows® XP
- Windows® 2000 Professional/XP、Windows NT® 4.0 を使用してる場合は、アドミニストレータ（Administrator）権限でログインする必要があります。

パソコン環境〔Macintosh®〕

本機とパソコンを接続してお使いいただくには、以下のパソコン環境が必要になります。
お使いいただいているパソコンのOSによって本機で使用できる機能が異なります。

OS ／メモリー

Mac OS® 8.6 ～ 9.2 ／ 32MB（推奨 64MB）以上
Mac OS® X 10.1 または 10.2.1 以降／ 128MB（推奨 160MB）以上

CPU

- Power PC G3 以上
- Power PC G4 対応

ディスク容量

50MB の空き容量

CD-ROM ドライブ

2 倍速以上必須

インターフェース

USB

ネットワーク

- OS 対応表
  お使いいただいているパソコンの OS によって本機で使用できる機能が異なります。

	Mac OS®	Mac OS® X	
	8.6 ～ 9.2	10.1	10.2.1 以降
プリンタ	○	○	○
PC-FAX ソフトウェア	○	○	○
リモートセットアップ	×	○	○

補足

- USB ケーブル、ネットワークケーブルは市販のものをお使いください。
- ネットワーク接続にはオプションのネットワークボード（NC-9100ｈ）が必要です。
- USB ケーブルは長さが 2.0m 以下のものをお使いください。
- メモリーの容量に余裕があると、動作が安定します。
- Mac OS® 9.0.2/9.0.3 をお使いの場合は、Mac OS® 9.0.4 へのアップグレードが必要となります。
- Mac OS® X 10.2 をお使いの場合は、Mac OS® 10.2.1 以降へのアップグレードが必要となります。

索　引

アフターサービスのご案内

この度は本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご愛用いただきます製品が、安心してご使用いただけますよう下記窓口を設置しております。
ご不明な点、もしくはお問い合わせなどございましたら下記までご連絡ください。
その際、ディスプレイにどのような表示が出ているかなどをおたずねいたしますので、あらかじめご確認いただけますと助かります。

【MFCお客様お問い合わせ窓口】

お客様相談窓口（ブラザーコールセンター）TEL：0120-143-410

受付時間　9：00～20：00（土曜日のみ17：00まで）
営業日　月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）

サポートページ（ブラザーソリューションセンター）：
http://solutions.brother.co.jp

【消耗部品のお問い合わせ窓口】

ブラザー販売（株）情報機器事業部　ダイレクトクラブ
〒467-8577　名古屋市瑞穂区苗代町15-1
TEL：0120-118-825
受付時間 9:00～12:00　13:00～17:00
営業日　月曜日～金曜日（祝日および当社休日はお休みとさせていただきます）
FAX：052-825-0311
インターネット：http://direct.brother.co.jp

- 消耗品については、お買い上げの販売店にてお買い求めください。
- 万一、販売店よりお買い求めできない場合は、弊社ダイレクトクラブにて対応させていただきます。なお、FAXにてご注文いただく場合は、取扱説明書の「ご注文シート」を印刷してご活用ください。
- 消耗品は当社指定品をお使いください。当社指定以外の品物をお使いいただくと、故障の原因になります。
  指定の消耗品をご使用いただいた場合のみ機能・品質を保証いたします。
- 本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造締め切り後5年です。
- 本書に記載されているその他の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- Brother Solutions Center（ブラザーソリューションセンター）（http://solutions.brother.co.jp）では、最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをダウンロードすることができます。また、Q&A、便利な機能紹介、その他プリンタをお使いいただく上で有益な情報をご用意しております。ぜひご利用ください。

ブラザー工業株式会社
〒467-8561 名古屋市瑞穂区苗代町15-1

brother

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。
現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が
本製品に適切でないおそれがあります。
海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only.
We can not recommend using them overseas
because it may violate the Telecommunications Regulations of
that country and the power requirements of your fax machine
may not be compatible with the power available in foreign countries.
Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。

Version B